

管理対象マシンの IP アドレスの変更手順について

対応バージョン

SSC2.x

概要

管理対象マシンの IP アドレスを変更する場合、SigmaSystemCenter のコンポーネント (SystemProvisioning, DeploymentManager, SystemMonitor 性能監視, ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent) に影響があります。

管理対象マシンの IP アドレス変更手順について説明します。

各コンポーネントへの影響

SigmaSystemCenter の各コンポーネントについて、以下の設定変更が必要です。

[SystemProvisioning]

SystemProvisioning のホスト設定で設定した IP アドレスの変更が必要です。

[DeploymentManager]

管理サーバ for DPM とクライアントサービス for DPM 間の通信は、IP アドレスを使用しています。管理対象マシンの再起動または、管理対象マシンで DeploymentManager サービスの再起動が必要です。

[SystemMonitor 性能監視]

SystemMonitor 性能監視で IP アドレスを指定して性能データ取得を実施している場合、SystemMonitor 性能監視上の管理対象マシンの IP アドレスの設定を変更する必要があります。

- SystemProvisioning の構成反映機能を利用している場合

SystemProvisioning での作業後の構成反映のタイミングで最新の IP アドレス情報が設定されるため、新たな設定は必要ありません。

- SystemProvisioning の構成反映機能を利用していない場合

SystemMonitor 性能監視の管理コンソールから手動で IP アドレスの変更を行ってください。

[ESMPRO/ServerManager, ServerAgent]

ESMPRO/ServerManager で、管理対象マシンの IP アドレスを変更する必要があります。

- (1) 統合ビューア上に登録されている管理対象マシンのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- (2) [基本]タブの[IP アドレス]をダブルクリックし、IP アドレスを変更してください。

変更手順

以下に、管理対象マシンの IP アドレスの変更手順を記載します。

- (1) [SSC Web コンソールでの操作]

管理対象マシンのメンテナンスモードをオンにします。

- (2) [管理対象マシン上での操作]

管理対象マシンにログインし、[コントロールパネル] → [ネットワーク接続] から管理対象マシンの IP アドレスを変更してください。

(3) [SSC Web コンソールでの操作]

管理対象マシンのホスト設定の[ネットワーク]タブに登録されている IP アドレスを、変更後の IP アドレスに合わせて変更してください。

(4) [管理対象マシン上での操作]

クライアントサービス for DPM の以下のサービスを再起動してください。

· DeploymentManager Agent Service

· DeploymentManager Remote Update Service Client

(5) [SystemMonitor 性能監視の管理コンソールでの操作]

「各コンポーネントへの影響」に従い、必要な場合は SystemMonitor 性能監視の管理コンソールから手動で監視対象マシンの IP アドレスの変更を行ってください。

(6) [ESMPRO/ServerManager 統合ビューアでの操作]

「各コンポーネントへの影響」に従い、ESMPRO/ServerManager 統合ビューアから手動で管理対象マシンの IP アドレスの変更を行ってください。

(7) [SSC Web コンソールでの操作]。

SSC Web コンソールで、管理対象マシンのメンテナスマードをオフにしてください。

作成日 : 2008/10/28